

山の防災システムセミナー

～山間部における災害状況の把握、遭難対策に使用される最新システムを紹介～

主催：四国総合通信局、四国地方非常通信協議会 後援：四国情報通信懇談会(予定)

日時 平成27年2月27日(金)
13:00～16:00 (12:30 開場)

場所 かがわ県民情報サービス株式会社 (e-とびあ・かがわ)
BBスクエア (高松シンボルタワー タワー棟5階:4階専用エスカレータ上)
香川県高松市サンポート2番1号

南海トラフ巨大地震では、津波へ関心が集まっていますが強い揺れによるがけ崩れの発生も懸念される場所です。このような災害において正確、迅速に情報収集ができるシステムとして「航空機搭載合成開口レーダ」があります。このレーダは悪天候や夜でも高い高度から地震火山噴火や土砂災害等の被害状況を写真のように把握できる「電波カメラ」とも呼べるシステムで、東日本大震災の際にも被害状況の把握に活用され、また、噴煙の影響を受けにくいことから昨年9月27日に噴火した御嶽山の状況把握にも利用されました。今回は、観測例を中心に有用性やその技術を御紹介します。

また、山においては毎年遭難事故が多く発生しています。このような事故を減らすことができるシステムとして「登山者の位置検知システム」が提案されています。今回は、北陸総合通信局において行われている調査検討の状況を御紹介します。

さらに、四国では無縁と思われる火山災害ですが、阿蘇山や桜島の大規模噴火が目されるようになったことから、噴煙や降灰といった影響についても考えておくことが必要な状況となりました。そこで、住民等に向けた火山情報等の伝達の現状と課題について御紹介します。

プログラム

I「雲の上から災害を捉える・・・航空機搭載合成開口レーダ」

講師 独立行政法人情報通信研究機構(NICT)

電磁波計測研究所 統括 浦塚 清峰 氏

概要 航空機搭載合成開口レーダ(SAR)について、観測例を中心に有用性やその技術を紹介

II「登山者等の位置検知システムの開発に関する調査検討状況について」

～登山者の見守り及び遭難者の救助支援～

講師 富山県立大学教授 岡田 敏美 氏

概要 登山者の位置検知システムの調査検討状況を紹介

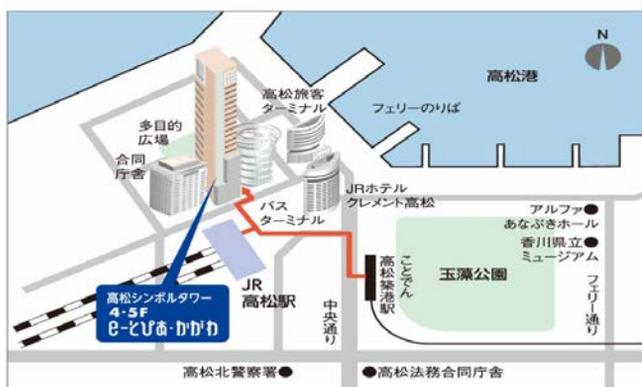
III「火山に関する情報と伝達」

講師 高松地方気象台 地震津波火山防災情報調整官 久保田 勲 氏

概要 噴火・火山灰等、火山に関する情報と情報伝達の現状と課題を紹介

参加費
無料

会場案内図



お申込み期限 **2月20日(金)**

ただし、期限内でも定員60名になり次第
締切りますので、お申込みはお早めに！

お申込みは、裏面を御覧ください。
皆様の御来場をお待ちしております。

【お問合せ先】

四国総合通信局 無線通信部 企画調整課
電話：089-936-5071

山の防災システムセミナー 参加のお申込み

参加申込書に必要事項を御記入のうえ、電子メールまたはFAXにてお申込みください。

- 電子メール shikoku-kikakuka@soumu.go.jp
- FAX番号 089-936-5008

※ 電子メールによるお申込みの場合、メール本文または添付ファイル(適宜の様式)に必要事項を御記入いただいても結構です。

※ 御連絡事項等が特にない場合は、お申込みのメールまたはFAXに対して返信はいたしませんので、あらかじめ御了承ください。

**お申込み期限は
2月20日(金)です!**

ただし、期限内でも定員60名になり次第締切りますので、お申込みはお早めをお願いします。

山の防災システムセミナー 参加申込書

四国総合通信局 無線通信部 企画調整課 あて

■会社名・団体名 (個人の場合は記載不要)

■参加者名簿

所属部署・役職	氏名	ふりがな

■連絡者

氏名	電話番号	メールアドレス

(個人情報の取り扱いについて)

御記入いただいた個人情報は、本セミナーを実施する目的以外に使用することはありません。

(お問合せ先)
四国総合通信局 無線通信部 企画調整課
電話:089-936-5071 (担当:松下)